

また、駅南口のターミナル機能を強化し、交通の結節点としての機能や、交流空間としての高質化を図るとともに、歴史的価値のある県庁別館を公開するなどの拠点の整備を進め、利便性が高く、歴史や文化にふれることのできる中心街の再生を目指すとともに、歩行者に配慮をした整備を進め回遊性を強化する必要がある。

これらの事業とともに、都市の景観の向上などを図り、中心市街地の各拠点を結び、歩いて楽しく、歩きたくなるまちへ向けた取り組みが求められている。

そのために、本計画では、土地区画整理事業、甲府駅南口周辺整備事業、道路や河川の改良事業等のハード整備を中心とした事業の実施により、交通機関の「アクセスしやすさ」を図るとともに、歩行者に配慮し「ポイントを結ぶルート」「快適な歩行空間」を整備し、整備完了後の各施設を活用したにぎわいの創出や、魅力の向上を図る活動の場にする。

(3) フォローアップの考え方

毎年度、事業の進捗状況の調査を行い、状況に応じて改善措置を講じる。また、基本計画の認定にあわせて設置する中心市街地まちづくり会議において、定期的に事業の検証を行う他、数値目標の達成状況等を分析し、目標達成に向けた効果的な事業実施を図るものとする。

[2] 具体的な事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 まちなか回遊道路整備事業 ○内容 市道整備、桜町道踏切の拡幅等 ○実施時期 H27～H31	甲府市	歩行者の回遊環境を向上するため、歩行空間の改良等の市道整備、桜町道踏切の拡幅等、甲府駅北口周辺エリアと区域南エリアを結ぶ歩行空間の整備を行う。 これにより、買い物客や観光客の回遊性が高まるとともに、歴史や文化にふれることのできる中心市街地の再生を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業である。	●支援措置 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画（甲府市中心市街地地区（第2期））） ●実施時期 H27～H31	

(2)②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 甲府駅周辺土地区画整理事業</p> <p>○内容 地区面積 21.9ha において、甲府駅周辺の大規模空地（鉄道跡地等）を活用した土地基盤施設の整備と敷地の整序を行う。</p> <p>○実施時期 H3～H35</p>	<p>甲府市</p>	<p>県都の玄関口にふさわしい交流の拠点として、人々が住み・集いそして、交流できる複合的な住みやすいまちに再生するため甲府駅周辺の大規模空地（鉄道跡地等）を活用した土地基盤整備を図る。</p> <p>このことは、歴史や文化にふれることができ、また、まちとつながる、人とつながることで中心市街地の再生を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（道路事業（区画））</p> <p>●実施時期 H1～H34</p>	
<p>○事業名 甲府駅南口周辺地域景観整備事業・甲府駅南口駅前広場</p> <p>○内容 甲府駅南口駅前広場の再整備（広場、一般車乗降場、バス乗降場、タクシープール、駐車場、駐輪場、総合情報案内所等）</p> <p>○実施時期 H25～H28</p>	<p>山梨県、甲府市</p>	<p>県都の玄関口である甲府駅南口周辺地域において、機能的で美しく風格のある空間となるよう公共施設の再整備を行い、歩行者や自転車、公共交通機関の安全性・快適性を高めることにより、買い物客や観光客の回遊性が高まるとともに、歴史や文化にふれることのできる中心市街地の再生を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>●実施時期 H25～H28</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 甲府駅南口周辺地域景観整備事業・平和通り</p> <p>○内容 甲府韮崎線（通称：平和通り）において、公共施設の再整備を行い、歩行者や自転車、公共交通機関の安全性・快適性を高める。</p> <p>○実施時期 H26～H30</p>	<p>山梨県</p>	<p>県都の玄関口である甲府駅南口の交通動線の中心である甲府韮崎線（通称：平和通り）において、機能的で美しく風格のある空間となるよう公共施設の再整備を行い、歩行者や自転車、公共交通機関の安全性・快適性を高める。</p> <p>このことは、中心市街地へのアクセス強化につながる。また、歩行者に配慮をし、各拠点間を結ぶルート of 快適な歩行空間の整備により、回遊性の向上につながる。</p> <p>歴史、文化、芸術が薫る中心市街地を感じ、まちとつながる、人とつながることを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 防災・安全交付金（道路事業）</p> <p>●実施時期 H25～H30</p>	
<p>○事業名 都市計画道路和戸町竜王線整備事業</p> <p>○内容 中央四丁目工区：計画延長L=308m、計画幅員W=22m、中心市街地の骨格を形成し、また東西方向の放射型道路として中心市街地の交通を円滑にする。</p> <p>○実施時期 H20～H32</p>	<p>甲府市</p>	<p>中心市街地への東西交通軸を強化する事業の内、区域東側部分に関わるもの。</p> <p>中心市街地へのアクセス強化によって、中心市街地への来街者が増加し、賑わいの創出につながるものであり、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>●実施時期 H23～H32</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 舞鶴公園北通り線整備事業</p> <p>○内容 市道舞鶴公園北通り線の歩道整備（バリアフリー化及び歩道拡幅）等</p> <p>○実施時期 H28</p>	甲府市	<p>甲府駅前広場から甲府城への導入路である市道舞鶴公園北通り線の、歩道整備（バリアフリー化及び歩道拡幅）を行うとともに、案内機能の充実等を図る。</p> <p>このことは、歴史や文化にふれることができ、また、まちとつながる、人とつながることで中心市街地の再生を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>●実施時期 H28</p>	
<p>○事業名 跨線橋東駐輪場整備事業</p> <p>○内容 舞鶴陸橋東駐輪場の整備</p> <p>○実施時期 H27</p>	甲府市	<p>甲府駅南口周辺整備に伴い、既設の駐輪場を整備し、駅前広場の自転車の整理を図る。</p> <p>このことは、歴史や文化にふれることができ、また、まちとつながる、人とつながることで中心市街地の再生を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>●実施時期 H27</p>	
<p>○事業名 古府中環状浅原橋線整備事業（中央四丁目工区）</p> <p>○内容 古府中環状浅原橋線と国道411号との交差点改良事業、全長380m、幅員18m</p> <p>○実施時期 H20～H29</p>	山梨県	<p>中心市街地へのアクセスを強化し、区域東部において慢性的に渋滞していた交差点改修を行い、来街者の増加を図る。</p> <p>中心市街地へのアクセス強化によって、中心市街地への来街者の増加し、賑わいの創出につながるものである。また、安全・安心で快適な歩行空間の確保により、居住環境の向上にもつながるものであり、中心市街地の活性化には必要な事業である。</p>	<p>●支援措置 社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））</p> <p>●実施時期 H20～H29</p>	

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 濁川改修事業 ○内容 都市計画道路（和戸町竜王線）の建設に併せバイパス水路整備を実施 ○実施時期 H22～H37	山梨県	河道断面の狭小区間があり、過去に浸水被害を受けている。 そのため、都市計画道路（和戸町竜王線）の建設に併せバイパス水路整備を実施することにより、流下能力を向上させ浸水氾濫被害を防止する防災対策を講じ、快適な居住環境の整備を図る。 このことは、まちとつながる、人とつながる中心市街地を目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。	●支援措置 社会資本整備総合交付金（河川事業） ●実施時期 H22～H37	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

該当なし

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 まちの杜推進事業 ○内容 花苗の植栽等 ○実施時期 H20～	甲府市	中心市街地にフラワーポットの設置し、花苗の植栽により緑あふれる都市景観を実現する。 このことにより、居住環境の向上につながる。これは、まちとつながる、人とつながることを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。		

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>○事業名 都市空間道路整備事業</p> <p>○内容 かすがも～る周辺道路エリアグレードアップ</p> <p>○実施時期 H29～H31</p>	<p>甲府市</p>	<p>甲府中央一丁目地区優良建築物等整備事業により、居住人口が増加し、賑わいの創出拠点が整備されることから、かすがも～るを中心とした周辺道路に快適な歩行空間を整備する。</p> <p>このことは、来街者を拠点に誘導するとともに、周辺への回遊性を高めることにより、心地のよい滞留空間の創出につながるものである。また、安全・安心で快適な歩行空間の確保により、居住環境の向上にもつながるものであり、中心市街地の活性化には必要な事業である。</p>		<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画（甲府市中心市街地地区（第2期））（H28.6申請予定）</p>